

都市型水害監視サービス

本システムは、XバンドMPLレーダーにより観測された降雨情報（XRAIN）とマンホールアンテナ*1 による水位情報を使って「降雨状況(特に局所降雨)」「下水道管路内の水位状況」を把握するとともに、「浸水の危険性等の雨水管理に必要な情報」「地形情報」「防災上必要な情報」等をGIS(Blitz GIS)上にリアルタイムに表示します*2。

さらに、それらの情報をクラウドサーバ環境下で共有し、雨水管理支援ツールとして施設の運用支援、防災支援、防災情報の一元化及び降雨・水位情報のストック等の促進を図ります。

浸水の危険をいち早く察知し、通知・周知する防災システム

リアルタイム雨水管理&情報共有



※1 マンホールアンテナは、東京都下水道サービス(株)、日之出水道機器(株)および明電舎の共同開発品です。

※2 特許出願中。

観測情報を活用し、1時間降雨量や下水道施設(主に管きょ、マンホール等)内の危険水位といった様々な危険な状況を条件として設定することができ、検知された情報をアラート通知(電子メール)により、直ちに関係者間で情報共有することができます。

また、当社ではこれら観測データを利用したAIや統計的な解析モデルによる浸水予測等の分析サービスを行っております。

本サービスはインターネット接続が可能なパソコン、タブレット、スマートフォン等から利用できます。

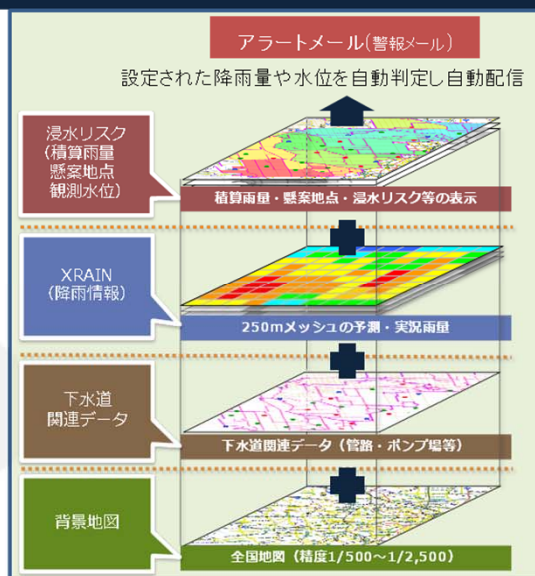
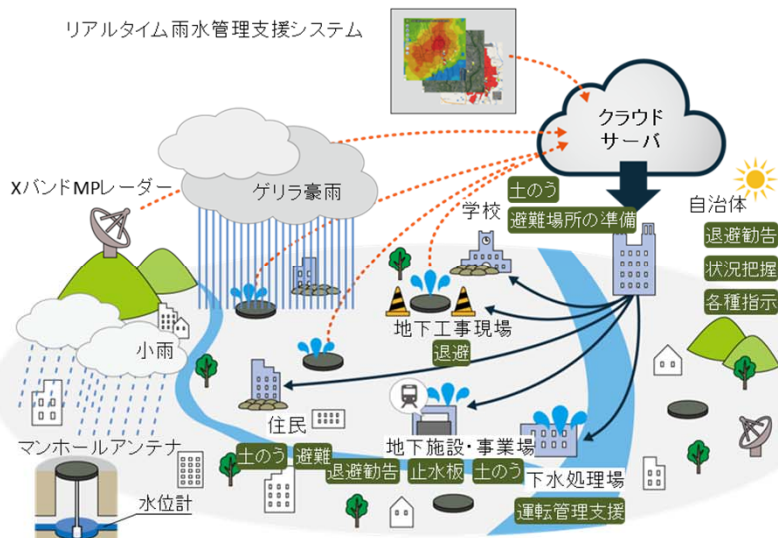


情報の一元化・見える化のイメージ

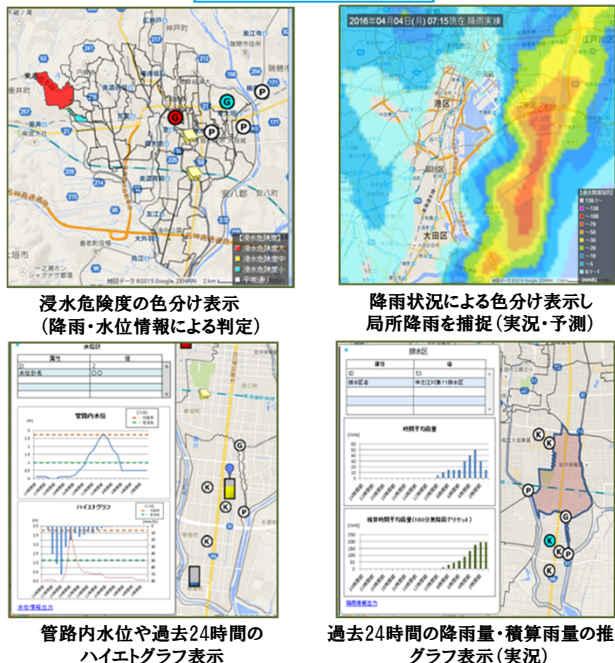
雨水管理に必要な情報の見える化・一元化を支援します

システムイメージ

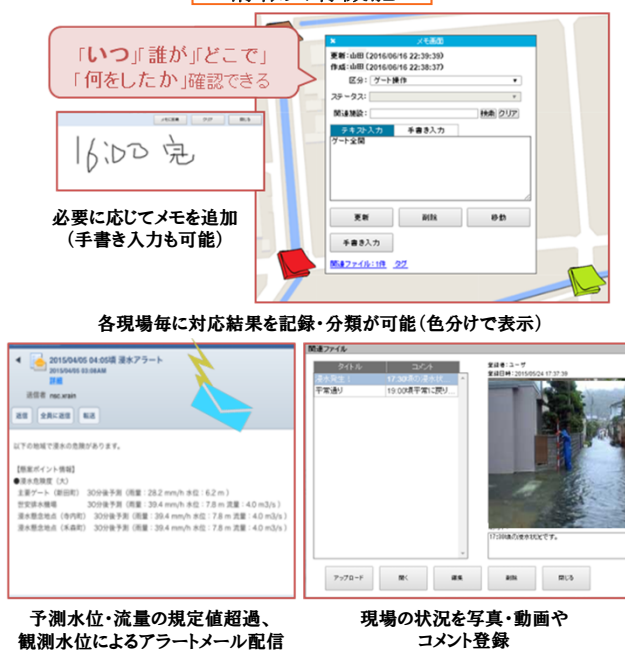
リアルタイム雨水管理支援システム



雨水管理機能



情報共有機能



実績(一部)

Google Maps(許諾番号 Z15DL第1243号)

令和元(2019)年7月時点で4団体にて運用中です。導入経緯等の一部を紹介します。

導入年度	発注者	導入のきっかけ
平成29年(2017年)	愛知県A市	局地的豪雨などに起因する水防活動を確実かつ円滑に行うことを目的として導入しており、総合雨水対策計画のソフト対策と位置付けて導入。
平成30年(2018年)	千葉県B市	局地的豪雨などに起因する水防活動を確実かつ円滑に行うことを目的に、リアルタイムに観測情報を発信する水位計(マンホールアンテナ)の設置に併せて導入。下水道部局と防災部局で情報共有ツールとして利用。